

全国 活動だより

▼北海道

★3年ぶり、対面での総会

越野 義貴(HBC)

北海道民放クラブ定期総会は、2020年以降、文面での投票に委ねてきましたが、今年度は3年ぶりに38名の参加と、来賓の日本民放クラブ理事・会報編集長である吉田正剛様のご来席を得て、久々の対面での開催にこぎ着けることができました。

余りのブランクゆえ「誰だったっけ? 顔を忘れてしまったよ!」などの戯れ言も飛び交う中、この3年間に逝去された仲間にも黙祷を捧げたあと審議に入りました。

役員改選期にあたって、会長、理事長、事務局長の三役が揃って改選されるという重要



3年ぶりの対面開催となった北海道民放クラブ定期総会

な会議でもありましたが、退任される長沼会長の議事進行のものと順調に議事進行が執り行われ、全ての案件が提案通り可決されました。

今年度からは、長沼修前会長(HBC)に代わって新蔵博雅新会長(UHB)、北島寿一前理事長(STV)に代わって白幡嘉信

新理事長(HBC)、長谷川一郎前事務局長(HTB)に代わって渡邊憲治新事務局長(STV)、代議員兼任)、新任の樋泉実代議員(HTB)、菅原浩昭総務担当(STV)のほか、再任された理事、監事のもと新たな体制で動き始めました。

会議の後、ホテルで用意された昼食の松花堂弁当を味わいながら、それぞれの部会長から今年度の活動について抱負を語り頂きましたが、やはり会員の高齢化や自然減、更に運転免許の返納などで会の運営が成り立っていないという切実な危機感も吐露される一幕もありました。

総会終了後、有志十数名で二次会に向かったのですが、何と常連のお店が予約でいっぱい! たまたま近隣のギャラリーで開催されていた絵画サークルの展覧会で長沼前会長の力作を鑑賞し



来賓の吉田正剛氏

たあと、ひたすらスキノ方面への流浪の民と相成りました。

途中、狸小路で真昼から営業している店を見つけて何とか宴会へとこぎ着けたのですが、遠路お越し頂いた吉田理事を市中心的引き回しの目に遭わせてしまった失態を、心からお詫び申し上げます。

ともあれ、北海道民放クラブは新たな体制でリスタートを切りました。

今年度も楽しくて中身の濃い話題を提供できるよう、精一杯遊びたいと思います。宜しくお願いたします。